

施策名【環境衛生】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり	3.快適な生活環境の創出	1.環境衛生	(1)	廃棄物処理対策の推進	5311-1	1	事業系ごみ収集・処理事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-2	2	家庭ごみ収集・処理事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-3	3	不法投棄ごみ処理事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-4	4	容器包装プラスチックリサイクル事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-5	5	ごみ減量事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-6	6	埋立ごみ処理事業	生活環境課	環境衛生係	簡易	
					5311-8	7	臼田廃棄物対策事業	臼田支所	経済建設環境係	簡易	
					5311-9	8	浅科廃棄物対策事業	浅科支所	経済建設環境係	簡易	
					5311-10	9	望月廃棄物対策事業	望月支所	経済建設環境係	簡易	
			(2)	し尿・汚泥対策の促進	5312-1	10	公衆トイレ維持管理事業	生活環境課	環境衛生係	通常	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	事業系ごみ収集・処理事業			事務事業コード	5311-1
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市が事業系一般廃棄物を適正に処理することにより、ごみが減少している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・事業系の一般廃棄物ごみ袋の作成、販売及び一般廃棄物処理業許可申請の受付 ・事業所に対するごみ減量化の直接指導 ・佐久市・軽井沢町清掃施設組合、川西保健衛生施設組合及び佐久市北佐久郡環境施設組合における事業系ごみの処分に関する分担金の支払い	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	109,381		145,068		147,462	
	人件費	0.90 人	6,165	0.90 人	6,543	0.90 人	6,543
	非常勤職員等	500 時間	665	500 時間	665	500 時間	665
	人件費合計	6,830		7,208		7,208	
	総事業費	116,211		152,276		154,670	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	86,584		87,934		82,383	
	一般財源	29,627		64,342		72,287	
	財源合計	116,211		152,276		154,670	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	家庭系ごみ収集・処理業務			事務事業コード	5311-2
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	廃棄物処理及び清掃に関する法律	
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 家庭用の一般廃棄物を3大分別15分類に分別し、ごみ処理基本計画に基づき適正に処理することにより、市民、地域の衛生環境が向上している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・市内を16エリアに分け、エリアごとにごみカレンダーを作成し、計画的な家庭ごみの収集を行っている。 ・家庭ごみについては3大分別15分類に分別し、指定のごみ袋に入れそれぞれ指定された日に、各区のごみステーションに搬出していただくよう、広報紙等により促している。 ・各ごみステーションに搬出されたごみを収集し、各処理施設等への運搬を市内のごみ収集業者に委託している。 ・収集指定日以外に出されたごみや分別が正しくされていないごみについては、イエローカードを貼り、分別を徹底するよう注意喚起及び指導を行っている。 佐久市・軽井沢町清掃施設組合及び川西保健衛生施設組合並びに佐久市北佐久郡環境施設組合における事業系ごみの処分に関する分担金の支払い	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	861,963		868,926		943,500	
	人件費	0.95 人	6,508	0.95 人	6,907	0.95 人	6,907
	非常勤職員等	600 時間	798	600 時間	798	600 時間	798
	人件費合計	7,306		7,705		7,705	
	総事業費	869,269		876,631		951,205	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	13,922		13,922		8,680	
	一般財源	855,347		653,141		942,525	
	財源合計	869,269		667,063		951,205	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	不法投棄ごみ処理事業			事務事業コード	5311-3
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 生活から発生する廃棄物が適正に処理されており、不法投棄の発生が防止され、自然環境の保全が図られることにより、市民が快適に過ごしている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・不法投棄の通報に対する調査、関係機関との連携により、不法投棄の行為者の特定及び廃棄物の撤去と指導を行う。 ・行為者が特定できない場合は、土地所有者またはその土地の管理者に連絡を取り、廃棄物の撤去を指導する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	1,546		1,314		2,000	
	人件費	0.60 人	4,110	0.60 人	4,362	0.60 人	4,362
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	4,110		4,362		4,362	
	総事業費	5,656		5,676		6,362	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	5,656		5,676		6,362	
	財源合計	5,656		5,676		6,362	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	容器包装プラスチックリサイクル事業			事務事業コード	5311-4
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠	容器包装リサイクル法	
管理方法	簡易				
実施方法	☐ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 容器包装プラスチックを分別収集し、処理・リサイクルすることにより、ごみの減量化、地球温暖化防止及び循環型社会が形成されている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ①回収は「家庭系ごみ収集・処理業務」により実施する。 ②回収された容器包装プラスチックが入った指定袋を破り、対象以外の異物を除去する等の選別を実施し、圧縮梱包が可能な状態にする。(委託先:公益社団法人佐久シルバー人材センター) ③選別した容器包装プラスチックを圧縮梱包する。(委託先:株式会社光和建設) ④圧縮梱包した容器包装プラスチックを公益社団法人日本容器包装リサイクル協会に委託し、再資源化を行う。 ⑤容器包装プラスチックを公益社団法人日本容器包装リサイクル協会に再資源化委託することで、市で負担する再資源化実施に係る費用を減らす。 ⑥①～⑤の過程により容器包装プラスチックの再資源化を実施し、ごみの減量化と市民のリサイクル意識の向上を図る。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	25,777		44,111		48,000	
	人件費	0.55 人	3,768	0.55 人	3,999	0.55 人	3,999
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	3,768		3,999		3,999	
	総事業費	29,545		48,110		51,999	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	29,545		48,110		51,999	
	財源合計	29,545		48,110		51,999	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	ごみ減量事業			事務事業コード	5311-5
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が、ごみの分別の仕組みを知ること、ごみの減量化に対する意識が高まり、ごみの排出量が減っている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 統一のとれたごみの分別と減量化を行う。 ごみの分別等についての相談や啓発を行う。 「家庭ごみ・資源物の分け方出し方」、「ごみ収集カレンダー」の全戸配布を年に一度行う。 生ごみの減量化を推進するため、生ごみ処理機等の購入に対し、補助金を交付する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	4,821		2,841		2,650	
	人件費						
	常勤職員	0.65 人	4,453	0.65 人	4,726	0.65 人	4,726
	非常勤職員等	200 時間	266	200 時間	266	200 時間	266
	人件費合計	4,719		4,992		4,992	
	総事業費	9,540		7,833		7,642	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	2,869		2,709		2,300	
	一般財源	6,671		5,124		5,342	
	財源合計	9,540		7,833		7,642	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	埋立ごみ処理事業			事務事業コード	5311-6
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
管理方法	簡易				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市が埋立ごみを処理し、うな沢第2最終処分場を適正に維持管理することにより、自然環境が守られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・再利用・再資源化が困難な一般廃棄物を埋め立て処分する。 ・うな沢第2最終処分場からの放流水が水質汚濁の原因にならないよう、雨水等の処理を行う浸出液処理施設の維持管理や、流入量や水質に応じた薬剤投与の調整、水質の管理を行う。(委託先:住友重機械エンバイロメント(株)) ・処理場から排出された水が環境基準を満たしているか水質を検査する。(委託先:株信濃公害研究所)	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	53,716		46,449		54,154	
	人件費	0.70 人	4,795	0.70 人	5,089	0.70 人	5,089
	非常勤職員等	3000 時間	3,990	3000 時間	3,990	3000 時間	3,990
	人件費合計	8,785		9,079		9,079	
	総事業費	62,501		55,528		63,233	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	62,795		55,528		63,233	
	財源合計	62,795		55,528		63,233	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	臼田廃棄物対策事業				事務事業コード	5311-7
担 当	総務 部	臼田支所 課	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)	法定根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること ごみの適正処理、不法投棄の防止に努め、自然環境の保全を図ることにより、快適な市民生活の確保を目的とする。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・不法投棄の通報に対して調査を実施し、関係機関等との連携によって投棄者を特定して、廃棄物の撤去及び指導をする。また不法投棄の行為者が特定できない場合は、土地所有者又は土地管理者へ廃棄物の撤去を依頼する。 ・ごみ分別の啓発指導、ごみステーション届出等の管理を行う。(ごみステーションの維持管理は各区で行う。) ・事業系一般廃棄物指定袋の販売を行う。 ・つらなし最終処分場の管理を行う。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.20 人	1,370	0.20 人	1,454	0.35 人	2,545
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	1,370		1,454		2,545	
	総事業費	1,370		1,454		2,545	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	1,370		1,454		2,545	
	財源合計	1,370		1,454		2,545	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	浅科廃棄物対策事業				事務事業コード	5311-8
担 当	総務 部	浅科支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	1.豊かな自然環境との共生
	施策	1.環境保全
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること ごみの適正処理、不法投棄防止に努め、自然環境の保全を図ることにより、市民は快適に生活している。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・各区より提出された土木事業の要望書を受理し本庁へ送付する。 ・不法投棄の通報に対して調査を実施し、関係機関等と連携によって投棄者を特定し、廃棄物の撤去及び指導を行う。 ・ごみ分別の啓発及び指導。 ・ごみステーションの管理は各区で実施。 ・事業系一般廃棄物指定袋の販売。 ・不法投棄の行為者が特定できない場合は、土地所有者又は土地管理者へ廃棄物の撤去を指導する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,055	0.30 人	2,181	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		2,181		2,181	
	総事業費	2,055		2,181		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,055		2,181		2,181	
	財源合計	2,055		2,181		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	望月廃棄物対策事業				事務事業コード	5311-9
担 当	総務 部	望月支所	経済建設環境 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(定型)		法定根拠			
管理方法	簡易					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 家庭ごみの適正処理、不法投棄防止に努め、自然環境保全の保全を図ることにより、適正な市民生活 が図られている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ①不法投棄の通報に対して、現地確認及び関係機関と連携して投棄者の発見と指導を行う。 ②家庭ごみ分別の啓発及び指導 ③事業系一般廃棄物指定袋の販売 ④不法投棄の行為者が特定できない場合の土地所有者又は管理者へ撤去の要請	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	0		0		0	
	人件費	0.30 人	2,055	0.30 人	2,181	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		2,181		2,181	
	総事業費	2,055		2,181		2,181	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	2,055		2,181		2,181	
	財源合計	2,055		2,181		2,181	

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	公衆トイレ維持管理事業			事務事業コード	5312-1
担 当	環 境 部	生活環境 課	環境衛生 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠		
管理方法	通常				
実施方法	☐ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	5.快適な暮らしを創る環境豊かなまちづくり
	節	3.快適な生活環境の創出
	施策	1.環境衛生
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民は、適正に管理された公衆トイレを快適に使用することができる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 公衆トイレ6箇所の清掃維持管理を行う ・民間委託4箇所 中込駅前公衆トイレ、岩村田駅前公衆トイレ、臼田地域いて座通り公衆トイレ、青沼駅公衆トイレ ・ボランティア管理2箇所 野沢商店街公衆トイレ、望月地区中山道公衆トイレ	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	2,325		1,967		4,315	
	人件費	0.30 人	2,055	0.30 人	2,181	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		2,181		2,181	
	総事業費	4,380		4,148		6,496	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	4,380		4,148		6,496	
	財源合計	4,380		4,148		6,496	

令和 5 年度 実施内容	市内公衆トイレ6箇所の清掃維持管理				
-----------------	-------------------	--	--	--	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
清掃管理回数	回	実績	800	800	
		目標	800	800	800
	%	達成率	100	100	
成果指標	単位				
苦情件数	件	実績	0	0	
		目標	0	0	0
	%	達成率	100	100	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	苦情件数は目標の0件を達成できた。また、清掃回数は目標どおり実施できたことから、概ね目標の成果は得られた。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間への委託が可能	すでに民間により実施を行っている。
事業の課題	6箇所の公衆トイレのうち2箇所はボランティアにより清掃していることから、他の箇所についてもボランティアによる清掃へ移行する余地はある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度	～	令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 市民が公衆トイレを快適に利用するため、今後も継続して民間委託やボランティアによる清掃を行うとともに、定期的な巡視や利用者のモラル向上のための啓発等を行う。				